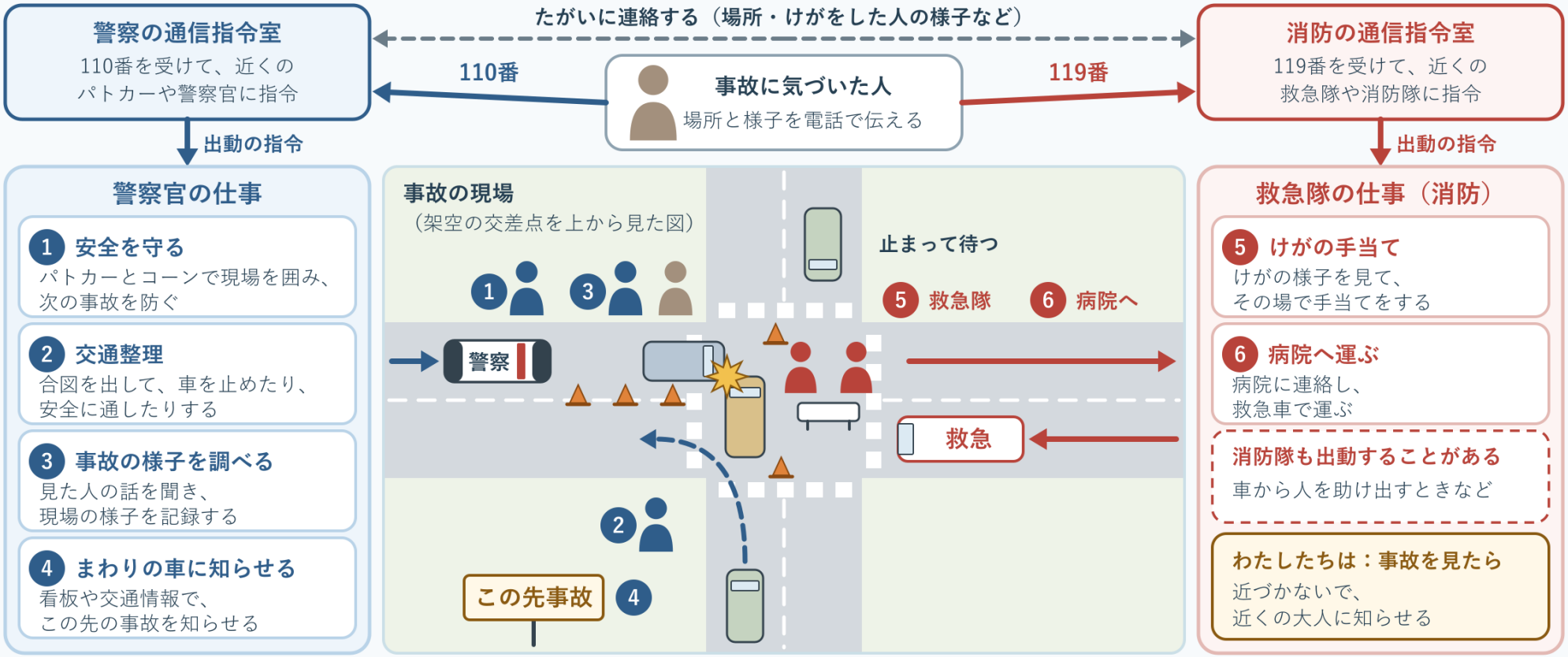
交通事故の現場で働く人々の役割

交通事故が起きたとき、だれが、どの順で、どんな仕事を分けて行うのかな



通報から道が元にもどるまで（時間の流れ）

事故に気づいた人が通報	警察：110番を受け、パトカーに指令	現場へかけつける	安全を守る・交通整理をする	事故の様子を調べる	こわれた車を動かし、道が元にもどる
	消防：119番を受け、救急車に指令	現場へかけつける	けがの手当てをする	病院へ運ぶ	次の出動にそなえる

※ 模式図。交差点は架空。連絡のしかたや仕事の分け方は、地域や事故の様子によってちがう。